

どんぐりの木

どうしてもと奥まで
この森をさまよい歩き
一本の細いどんぐりの木に
姿を変えない？

そうしたら
もう二度とあなたに逢えない悲しみを
切りつける寒風や暖かなそよ風のなかに
少しずつ吐きだしてしまいうことが出来るだろうか

するとその風に魅せられて
石の卵ばかり産む
はにかみ屋のみそさざいや
やかまし屋のかけすが集まってくるだろう

そうして秋が来るたびに
りすや野ねずみや枯葉のうえに
ぽとぽとと乾いた実を落としていけば
あなたに拒まれた暗黒が
いずれは忘れられるだろうか



それとも
幾十年のち
どんぐりの樹が枯れて倒れたとき
獣たちは
朽ちた幹の芯に
あなたへの想いが凝固（かた）まってできた
黄色い宝石を見つけるだろうか？